

| | | | | |
|-------------------------|--|------|---|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 社会的養護 I / 社会的養護 (2 単位) | | 3. 科目番号 | JNNT1418 SSMP2362 SCMP2362 SBMP2362 SPMP2362 SJMP2105 |
| 2. 授業担当教員 | 中嶋 一郎 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、演習、ディスカッション | | 5. 開講学期 | 春期・秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | 社会的養護の意義、制度や実施体系を学び、社会的養護が子どもの支援体制であることを理解する。社会的養護の理念、概念、歴史の変遷、支援を行う際に必要な「子どもの最善の利益」「子どもの権利」等の基本原則と社会的養護における倫理と責務を学び、社会的養護の対象や家庭養護と施設養護の形態、関係する専門職等について理解する。社会的養護の現状と課題について、社会的状況、施設等の運営管理、虐待防止、地域福祉を学ぶ。 | | | |
| 8. 学習目標 | 1. 社会的養護の理念と概念を理解し、保育士として実践で使用出来る知識を身につける。 2. 児童の権利、児童養護の理念を理解し、保育士として実践で使用出来る知識を身につける。 3. 施設養護における自立支援等の具体的な支援について理解し、保育士としての実践力を身につける。 4. 社会的養護の抱える今後の課題について理解し、保育士としての考察力、対応力を身につける。 | | | |
| 9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題 | 15回の授業内で、社会福祉への問題意識を高め、主体的な学習が出来るように予習を兼ねたアサシメントと、問題へ及び考察を表現するためのレポート課題を行う。 第1回の授業開始までに「社会的養護の理念と概念」について調べてまとめたレポートを作成しておくことを強く望む。(字数は任意) | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 【教科書】 なし | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 1. 社会的養護に関わる支援に対する理念・制度の体系を理解出来たか。 2. 児童の最善の利益、児童の権利を理解出来たか。 3. 施設養護における自立支援等の具体的な支援について理解出来たか 4. 社会的養護の抱える今後の課題について理解し、保育士としての考察力、対応力を理解出来たか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・レポート 総合点の45% 2 期末試験 総合点の40% 3 日常の学習状況 総合点の15% | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 携帯電話等の使用や私語等を慎むことは、守るべきマナーです。(減点の対象) 授業等で不満があれば個人的に受け付けておりますので、いつでもご相談ください。 自分の意見を持つことは、共に学ぶ学友との相互理解を深めるための道具です。自分の意見はワークシートにまとめ、それを元に他人と議論を交わしてください。 (以下、加点の対象) 他の学生を尊重し、その意見をしっかりと受け止めてください。 発表の際には、他の学生に伝わる大きさの声で行ってください。 わからないことがあれば、授業内、外で積極的に質問をしてください。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知する。 | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第1回 | オリエンテーション 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷① 社会的養護の理念と概念 | 事前学習 | 社会的養護の理念と概念について調べてまとめたレポートを作成しておく。 | |
| | | 事後学習 | 社会的養護の理念と概念を理解し、保育士として実践を行う際の規範との関連を説明出来るようにする。 | |
| 第2回 | 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷② 社会的養護の歴史の変遷 | 事前学習 | 社会的養護の歴史上で起きた出来事の一つまとめたレポートを作成しておく。 | |
| | | 事後学習 | 社会的養護の歴史について理解し、説明出来るようにする。 | |
| 第3回 | 社会的養護と児童家庭福祉① 児童家庭福祉と社会的養護の関係性 | 事前学習 | 児童家庭福祉の支援における重要なポイントをまとめたレポートを作成しておく。 | |
| | | 事後学習 | 社会的養護における児童家庭福祉の在り方を理解し、説明出来るようにする。 | |
| 第4回 | 社会的養護と児童家庭福祉② 児童の権利擁護と社会的養護 | 事前学習 | 児童の有する権利についてまとめたレポートを作成しておく。 | |
| | | 事後学習 | 社会的養護における児童の権利の位置付けを理解し、説明出来るようにする。 | |
| 第5回 | 社会的養護の制度と実施体系① 社会的養護の制度と法体系 | 事前学習 | 社会的養護に関する法制度の一つ調べてまとめたレポートを作成しておく。 | |
| | | 事後学習 | 社会的養護を実施するための法体系と具体的な制度を理解し、説明出来るようにする。 | |
| 第6回 | 社会的養護の制度と実施体系② | 事前学習 | 社会的養護に係る施設の一つ調べてまとめ | |

| | | | |
|--|---|------|--|
| | 社会的養護の仕組みと実施体制 | | たレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 社会的養護の実施体制を理解し、実際の仕組みを説明出来るようにする。 |
| 第7回 | 社会的養護の制度と実施体系③ 家庭養護と施設養護 | 事前学習 | 家庭養護と施設養護の特徴について調べてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 家庭養護と施設養護の特徴を理解し、それぞれのメリット・デメリットを説明出来るようにする。 |
| 第8回 | 社会的養護の制度と実施体系④ 社会的養護の専門職 | 事前学習 | 社会的養護に係る専門職を保育士以外で一つ調べてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 社会的養護に係る専門職の特徴と業務内容を理解し、保育士との連携について説明出来るようにする。 |
| 第9回 | 施設養護の実際① 施設養護の基本原理 施設養護の実際/養護系施設 | 事前学習 | 施設養護での基本原理をまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 養護系施設で行われる業務内容と支援の実際を理解し、実践で活かせる知識を身に付ける。 |
| 第10回 | 施設養護の実際② 施設養護の実際/非行系施設・障害系施設 | 事前学習 | 障害系施設の種別を整理してまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 非行系施設、障害系施設で行われる業務内容と支援の実際を理解し、実践で活かせる知識を身に付ける。 |
| 第11回 | 施設養護の実際③ 施設養護とソーシャルワーク 施設等の運営管理 記録の作成の留意点と自己評価の視点 | 事前学習 | ソーシャルワークという言葉の意味を調べてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 施設養護にかかる支援方法、及び記録の仕方等の具体的業務を理解する。 |
| 第12回 | 社会的養護の課題と展望① 生活単位の小規模化とケア体制 | 事前学習 | 社会的養護におけるケア体制の具体例を調べてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 社会的養護の支援において子どもの権利を保障するために必要なケア体制を理解し、説明出来るようにする。 |
| 第13回 | 社会的養護の課題と展望② 社会的養護の担い手のケアの必要性 | 事前学習 | 社会的養護の施設に従事する職員が抱える問題についてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 社会的養護に従事する職員の実際を理解し、そのような状態に自身が置かれた時の対処方法を考察する。 |
| 第14回 | 社会的養護の課題と展望③ 社会的養護の展望 | 事前学習 | 社会的養護に今後求められる課題の一つ調べてまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 社会的養護が今後抱える課題を整理し、その対応策を考察する。 |
| 第15回 | まとめ 保育士として社会的養護にどのように関わりたいのか | 事前学習 | 保育士として社会的養護に係る施設で働くとしたら自身はどのような施設で働いてみたいのか、具体的な施設の種別とその理由をまとめたレポートを作成しておく。 |
| | | 事後学習 | 保育士として働いてみたい施設に関する知識とその理由を説明出来るようにする。 |
| <p>期末試験</p> <p>内容については、15回の授業で行った内容から記述形式で問題を作成する。</p> <p>資料の持ち込みに関しては、授業で使用したコマシラバスと配布資料に関しては可。</p> | | | |